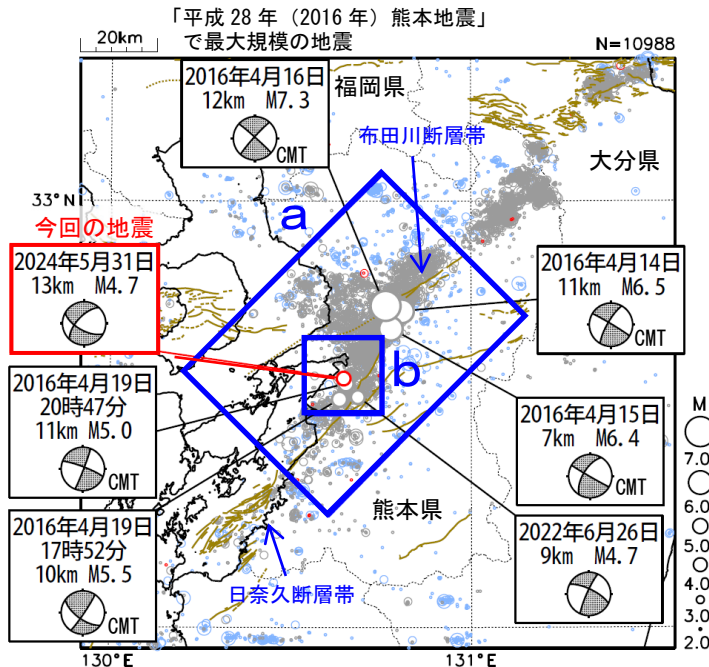


5月31日 熊本県熊本地方の地震

震央分布図

(2000年10月1日～2024年5月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)

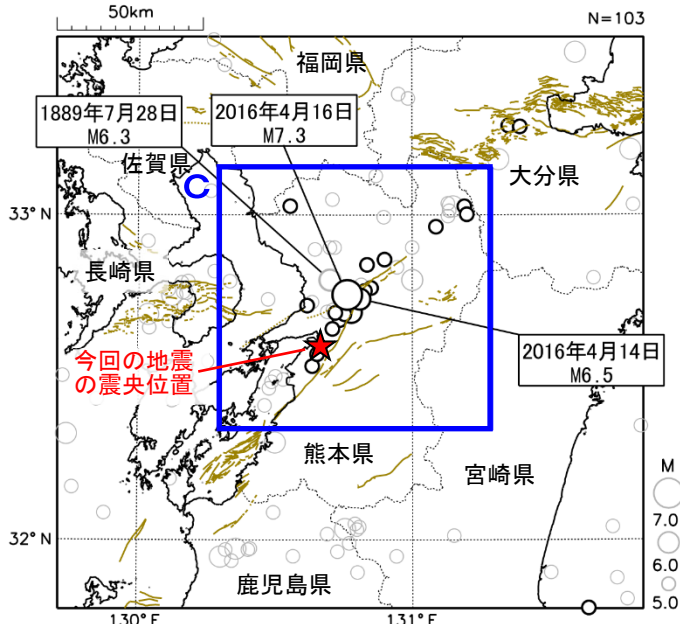
2016年4月14日21時より前に発生した地震を薄青色○、
2016年4月14日21時以降に発生した地震を灰色○、
2024年5月に発生した地震を赤色○で表示



震央分布図

(1885年1月1日～2024年5月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 5.0$)

2016年4月14日21時より前に発生した地震を灰色○、
2016年4月14日21時以降に発生した地震を黒色○で表示



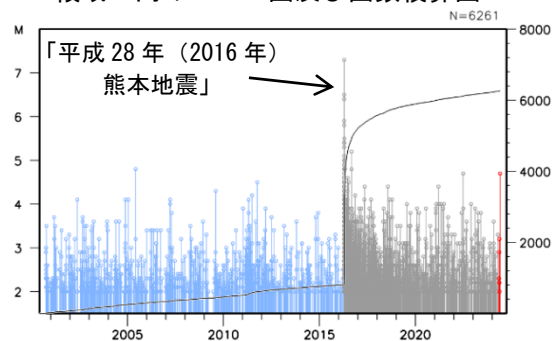
図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す
(震源要素は、1885年～1918年は茅野・宇津
(2001)、宇津 (1982, 1985) による※)

2024年5月31日04時46分に熊本県熊本地方の深さ13kmでM4.7の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は、南北方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

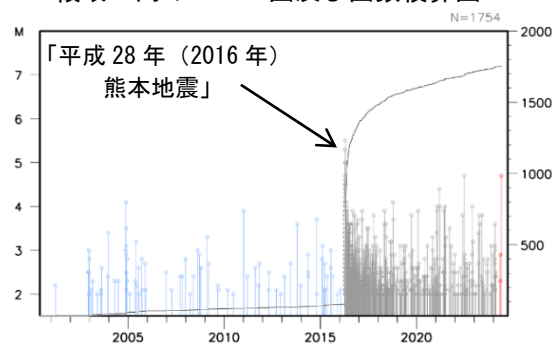
2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では「平成28年（2016年）熊本地震」が発生している。この地震により、熊本県で死者273人、大分県で死者3人などの被害が生じた（熊本県は2024年5月13日現在、熊本県による、その他は2019年4月12日現在、総務省消防庁による）。また、最近の領域b内の活動では、2022年6月26日にM4.7の地震（深さ9km、最大震度5弱）が発生している。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M5.0以上の地震が時々発生している。このうち、1889年7月28日にはM6.3の地震が発生し、熊本県で死者19人、家屋全倒234棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

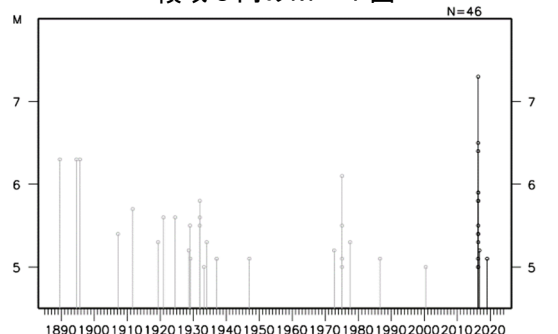
領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



※宇津徳治（1982）：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年、震研彙報、56、401～463。
宇津徳治（1985）：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加）、震研彙報、60、639～642。
茅野一郎・宇津徳治（2001）：日本の主な地震の表、「地震の事典」第2版、朝倉書店、657pp。